

ウクライナに平和を！ 今日も10人がスタンディング



2月4日(土)14:00から調布駅前広場で、市民有志による「ウクライナ侵略戦争STOP、サイレント・スタンディング」が行なわれました。昨年2月24日の侵略開始に抗議して、声をかけ合って27日に駅頭に集まった50人を超える市民のみなさんが、その後も継続して行なおうということで、ねばり強く続けている行動です。3月12日以降は毎週土曜日に行ないましたが、戦争が長期化しているため10月1日以降は第一土曜日に行なおうということになっています。

今日も10人のみなさんが参加、「戦争はダメ!」「軍事支援で平和外交を!」「ウクライナの市民と子どもたちに人道支援を!」と肉声で訴えました。今日は数人の男性が関心を示してくれて、5000円を超える募金もありました。

時間は14:00から1時間です。みなさんもぜひご参加を!

平和・いのち・くらしを壊す 大軍拡・大增税に反対する請願署名 とりくんでますか?

「伝言板863号」でお届けした署名。来る15日の国領駅前での宣伝行動でも取り組みますが、用紙(今回も添付します)を印刷して、みなさんの関わる団体での回覧、地域・ご家族へのよびかけなどを大いにすすめましょう。

オンライン署名にもご協力を!

#軍拡より生活!~未来の
子どもたちのために平和を!

「平和を求め軍拡を許さない女たちの会」が呼びかけているオンライン署名「#軍拡より生活!~未来の子どもたちのために平和を!」の賛

同者が7万人を超えたそうです。

(署名の趣旨と「女たちの会」のメンバーは後ろに掲載します)

この署名は2月8日に締め切って、岸田文雄首相、政府・与党、野党各党の代表、連合代表に提出する予定だとのこと。署名される方は、以下のURLから署名してください。

<https://chng.it/sWhLBzcy4g>

請願の主旨

岸田政権は、5年で43兆円、GDP比2%という防衛費の増額を打ち出しました。しかし、防衛費は、その詳細が明らかにされておらず、どう捻出するかも決まっていません。むしろ、この軍拡は周辺諸国の緊張を高めました。これが、私たちの国のためになるのでしょうか。

政府がこれまで掲げてきた、少子化対策や労働者の賃上げ、女性や1人親家庭、非正規労働者、性的マイノリティ、子どもなど、社会的弱者のための公的支援の政策が、マイナスの影響を受けるのは明らかです。

政府の全世代型社会保障構築会議は昨年未、改革の方向を示しましたが、働く女性の過半数を占める非正規労働者、子育て支援のための財源論は先送りされました。現状の日本の教育への公的支出は先進国で最低レベルです。大学までの教育無償化や給食費無償化は、3兆円でできると言われながらも先送りされました。これでは物価高の中、子育て世帯の負担は重くのしかかるばかりで、この国の喫緊の課題である少子化が防げません。

ところが、自民党税制調査会は、こうした課題に真剣に取り組まず、軍事費増額については、法人税、所得税、たばこ税の3税を増税して財源の一部にあてることを大筋合意しました。

子どもや女性、少子化対策をなおざりにした軍拡は、この国を衰退させ、諸外国に敵を作るだけです。軍拡の前にもっと外交努力を積み重ね、平和を模索してください。

今こそ、軍事に進む政治から脱し、生活と平和を守る「女性」目線の政治が必要です。軍需産業の育成でなく、平和のための産業や技術、人材に投資してください。女性が安心して生活し、働ける環境なしでは、男性も子どもも貧困化します。

戦後の安全保障原則の大転換が、国会審議も、総選挙や国民投票もなく、特に女性や社会的弱者の声を聞くこともなく進められています。私たちはこの歯止めのなき軍拡の決定を認めません。

私たちは、岸田文雄首相、政府・与党、野党各党の代表、連合代表に対し、

1、軍事費GDP比2%を撤回すること

2、歯止めなき軍拡を押し進めるをやめ、そして女性や子ども、若者や社会的弱者の目線に立った政策を進めること

この2点を行うことを強く求めます。

平和を求め軍拡を許さない女たちの会

竹信三恵子 ジャーナリスト、和光大学名誉教授

杉浦ひとみ 弁護士

上野千鶴子 WAN理事長 東京大名誉教授

前田佳子 日本女医会会長

田中優子 法政大前総長

奥谷禮子 ザ・アール創業者

伊藤和子 ヒューマンライツナウ副理事長 弁護士

和田静香 ライター

菱山南帆子 市民運動家

福田和香子 アクティビスト

浜矩子 経済学者

東村アキコ 漫画家

代表賛同人・賛同団体 (順不同)

望月衣塑子 新聞記者

平井美津子 大阪大学・立命館非常勤講師

島田雅彦 作家

駒井知会 弁護士

中島京子 小説家

狩野史枝 与那国島の明るい未来を願ういそばの会

高橋済 弁護士

吉永みち子 コラムニスト

米澤明憲 東京大学名誉教授

武市正人 東京大学名誉教授

西山誠子 入管面会活動「フレンズ」

長谷部大介 DJ/サウンドプロデューサー

井上春生 映画監督

向井徹 編集者

鳥越俊太郎 ニュースの職人

平嶋彰英 立教大学経済学部研究所研究員

安彦恵里香 Social Book Café ハチドリ舎

木村知 医師・文筆人

古橋綾 大学准教授

渡部睦美 記者・編集者

失礼ながら以下略 (編集部)